

【2016年活動報告】

2014年10月以降、河本が1人理事で活動してきましたが、10月に新理事2人を迎え業務の分担に加えて、関東・岡山を両拠点としてさらに活動を強化する体制を作り、初の行政との協働が実現しました。

現行の体制は

- ・代表理事：河本美津子(岡山県岡山市)
- ・理事：速水菜々子(東京都新宿区)、太田理香(岡山県岡山市)
- ・社員：益原里佳(神奈川県横浜市)、加藤和世(愛知県高浜市)、宮崎幸恵(兵庫県姫路市)、

前淵啓子(熊本県熊本市)

- ・会計：是光則子(岡山県岡山市)、木口優(岡山県岡山市)
- ・地域リーダー：田中晶代(千葉)、釘宮由美子(栃木)、海田真奈美(埼玉)、鷺頭明子(東京)、益原里佳(神奈川)、高橋明日香(新潟)、加藤和世(愛知)、農端幸美(大阪)、宮崎幸恵(兵庫)、河本美津子(岡山)、前淵啓子(熊本)、緒環和美(大分)

さらに地域だけでなく、活動によるグループ(WEB会議

室、フォスター・ペアレント、ぐるーん美術班、ぐるーん

愛のベビースタイルプロジェクト、イラストストーリー、ソーイングチーム、ぐるーんエンジェルなど)や、施設ごとのグループも作りサポーター相互の連携と連帯の強化を図りました。

また、過年度から行っている支援の仲介も広がりました。KONISHIKI様ご提供のベビー服・ベビー靴・キャリーなど、誠実堂製帽所様ご提供のベビー帽子、アサヒビール様ご提供のおせち料理セットを、地域リーダーの協力によって全国の乳児院・児童養護施設へお届けしました。

ぐるーんの活動の3つの柱については、各地で以下の活動をしました。

①乳児院・児童養護施設での抱っこ：12月現在累計サポーター登録数は約1400人、そのうち乳児院・児童養護施設での定期的な抱っこに通っているサポーターは約100人。

サポーター数の増加は、社会的養護の子ども達に関心を持つ人が増えることに繋がります。施設での抱っこだけでなく、ベビーマッサージ、絵本の読み聞かせ、ハンドマッサージなど、それぞれのサポーターができることで、施設の子ども達や職員さんに関わっています。

②生育環境の違いを超えた子ども達の交流イベントの開催：5月ダチョウイベント(岡山・参加者50人)、7月サバイバルイベント(岡山・82人)

③里親制度・養子縁組制度に対する理解を深めるための情報発信と広報活動：7月DVD鑑賞会(岡山)、第1回里親講座と座談会(岡山)、8月ぐるーん交流会(東京)、10月里

親タペストリー製作・展示(岡山)、第2回里親講座と座談会(岡山)、一時里親のリーフレット製作、11月品川子育てメッセ参加(東京)、12月ゆうあいセンターふろしき市(岡山)、岡山シティFM出演 その他、パンフレット改訂

また、愛のベビースタイルプロジェクトでは、愛媛県のIKEUCHI ORGANIC様のご協力でタオルを送っていただき、継続してベビースタイやおもちゃを手作り。11都府県で活動が引き続き行われ、18軒の乳児院へお届けしています。定期的に抱っこに行けないサポーターも参加でき、サポーター同士が顔を合わせる機会にもなります。各地に製作の拠点となる場所も生まれました。

さらに、社会的養護の必要な子ども達と関わる中で見えてきたいくつかの課題に対して具体的な取り組みを始めました。

④児童養護施設の子ども達への就労・進学支援と居場所作り：麒麟福祉財団様の助成により岡山県の児童養護施設入所中の中学3年生および高校生を対象とし、就職・進学活動支援をスタートしました。NPO法人サービスマナー協会認定講師の指導で、年間のべ10回コミュニケーションの取り方や就活マナー等を学び、講座終了後は一緒に昼食をとり、交流や情報交換の時間を持ちました。

今年度の大きな変革は、ぐるーんの企画した一連の事業が岡山市市民協働推進モデル事業に採択されたことで、昨年度の里親心得座談会から始まった行政との協働がさらに進みました。「里親委託を推進するための、里親制度の普及啓発」と題したこの事業は、乳児院で子ども達を抱っこすることから始まったぐるーんの目指すところでもあります。施設を訪問することで芽生えた子ども達への関心が、自ら里親(週末里親を含む)となることで、家庭での児童養育を推進する一助となり、周囲の人々への啓発ともなるものです。

2016年5月から2017年2月まで、里親講座と座談会(3回)、花育ワークショップ(4回)・模型ワークショップ(2回)の開催、一時里親のリーフレット製作、里親のタペストリーの製作と展示などを、岡山市こども総合相談所と協働で行いました。同じ目的に向かってお互いの得意分野を生かしながら、いい関係で協働できました。

【2017年・平成29年度活動計画】

ぐるーん社員会議での承認を得て、新理事の就任と事業年度の変更を行います。神奈川県男性理事(風穴江)を加え、関東での活動の拡大とイベントやワークショップの開催を目指します。また、事業年度を現行の1月～12月から4月～翌3月に変更し、行政との協働や助成金の会計が簡便になるようにします。

昨年度よりサポーター登録者には、地域リーダーによる面接を実施。ぐるーん独自の活

動や社会的養護の必要な子ども達に対する理解を深めるだけでなく、サポーター自身の持つスキルや趣味を生かして活動に参加できるよう進めてきました。定期的な抱っこのための施設へのアプローチも地域リーダーか理事が継続して行います。また地域のサポーター同士の交流できる機会を設け、一緒に活動できる仲間作りを行います。ぐるーんの柱となる活動をこれまでの3つから4つに増やします。

①乳児院・児童養護施設での抱っこ：ぐるーんはお金でも物資でもなく、愛と温かさを施設で暮らす子ども達に直接届けます。これまで乳児院が活動の中心だった地域や活動がスタートしていなかった地域でも、乳児院に加えて児童養護施設での活動も推進します。

②生育環境の違いを超えた子ども達の交流イベントの開催：子ども達相互の交流だけでなく、施設や学校の先生以外の大人ひいては里親候補との出会いの場にもなる交流イベントを、岡山以外の地域でも開催します。

③里親制度に対する理解を深めるための情報発信と里親（週末里親を含む）登録推進：

1、里親フォーラムの開催：メインの講演と分科会を企画し、様々な年齢層や立場の市民に対して情報発信と学びの機会を提供します。

2、児童養育に関する学習会の開催：児童の生育について理解を深め、児童養育に必要な知識や技能を身に着けることは、里親だけでなく子ども達と関わる大人には必要なことだと考え、(1)虐待の影響による愛着障害・発達障害への理解を深める学習会 (2)自己肯定感を高めるプログラム 等を学習する機会を持ちます。

3、施設で暮らす子ども達とふれあうワークショップの開催：里親に関心はあるものの踏み出せない人や、まず子ども達を知りたい人のために、施設でのワークショップを開催します。子ども達にとっては、それぞれのワークショップが情操を深めたり、様々な職業を知る機会になったり、また学校や施設の先生以外の大人とふれあう機会になります。・花育 ・模型 ・鍵盤ハーモニカ ・アロマ・マッサージ ・落語 ・お菓子作り など。

4、里親ってこんな感じ冊子製作：昨年度製作した里親タペストリーの原稿を基に冊子を製作し、里親の生活に対する理解を深める一助にします。

5、ぐるーん式週末里親登録の促進：施設で暮らす子ども達には、一緒に暮らせる親がいなくても、祖父母も親類もいません。親にはなれなくても週末里親としてその子と関わり、愛情をかけ、しっかりと向き合ってくれる親類のような大人が必要です。養育里親の前段階として以上に週末里親の持つ意義を確認し、その子にとって頼れる大人の1人になることを目指します。

④児童養護施設の子どもの就職・進学支援と居場所作り

児童養護施設を退所した子ども達は、上級学校への進学が難しく、就職して自立するのが一般的です。しかし、就職したものの続かず住むところも失ってしまう若者が多いことから、中学・高校在学時からコミュニケーションの取り方や就活マナーを学ぶ機

会を提供し、希望の職種に就職できるよう支援します。さらに施設退所後も交流を続け、社会に出た青年たちが孤立することのないように居場所を作ります。

「全ての子ども達が愛し愛される大人に抱かれて眠りにつけるように」
これは、ぐるーん設立当初から念じてきた願いです。子どもは社会の宝であり、未来への希望。愛されて育つ権利があります。子ども達が生きやすい社会が必要です。ぐるーんは、施設での抱っこ事業、子ども達の交流イベント事業、里親推進事業、アフターケア事業等を通して、血縁を超えた新しい家族のかたちが当たり前に入れられる社会の実現に貢献できるよう尽力します。
今年度も、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。